

APEC交通ワーキンググループ

APECの活動の柱

- 貿易・投資の自由化(関税、非関税障壁、サービス、投資等における障壁の撤廃)
- 貿易・投資の円滑化(貿易データベースの整備、基準の整合化、手続きの調和、電子化推進)
- 経済・技術協力(域内の発展の格差の縮小と障害の除去)

組織概要

首脳会議

分野別担当大臣会合

閣僚会議

貿易、財務、観光、海洋、教育、交通、環境、中小企業、人材育成、科学技術協力、女性問題、エネルギー、電気通信・情報産業等

高級実務者会合

作業部会(WG)

各国代表者等会合(HOD)

経済委員会

- ・エネルギー(EWG)
- ・中小企業(SMEWG)
- ・人材養成(HRDWG)
- ・電気通信(TELWG)
- ・観光(TWG)

財政管理委員会

港湾・海事専門家会合
(Maritime Experts Group)

議長国: **日本(港湾局)**
事務局: **日本(港湾局・海事局)**

貿易・投資委員会

陸上専門家会合

経済・技術協力運営委員会

- ・**交通(TPTWG)**
- ・産業科学技術(ISTWG)
- ・農業技術協力(ATCWG)
- ・海洋漁業(OFWG)
- ・貿易促進(WGPT)

航空専門家会合

タスクフォース

インターモーダル・高度
交通情報システム会合

ポートサービスネットワーク
(APSN)

APEC参加国・地域

豪州、ブルネイ、カナダ、チリ、中国、香港、インドネシア、日本、韓国、マレーシア、メキシコ、ニュージーランド、パプアニューギニア、ペルー、フィリピン、ロシア、シンガポール、台湾、タイ、米国、ベトナム(計21カ国・地域)

交通(TPTWG)の開催状況

- 第3回1992年12月東京
- 第18回2000年10月宮崎
- 第30回2008年4月マニラ
- 第31回2008年8月リマ
- 第32回2009年7月シンガポール
- 第33回2010年10月千葉
- 第34回2011年6月ブリスベン
- 第35回2012年2月バンコク
- 第36回2012年8月 Санктペテルブルグ
- 第37回2013年4月ホーチミン
- 第38回2013年7月バリ(予定)

交通(TPTWG)

- 設立の経緯: 1991年、APEC域内の交通システムの効率性と安全性を高めることを目的に設立
- 活動概要: 運輸分野で、貿易の円滑化及び域内の格差縮小のための重要なイニシアティブやプロジェクトを、民間関係者と密接に協力しつつ実施

港湾・海事専門家会合(MEG)

- 活動の柱: ①海上運送部門におけるボゴール目標に向けた努力、②APEC地域における海上運送効率の改善に向けた努力、③海上安全の確保に向けた努力、④海洋環境保護に向けた努力、⑤APEC域内の海事保安の強化に向けた努力、⑥能力強化に向けた努力